



# 十西小だより

弥富市立十四山西部小学校  
学校だより 第40号



令和2年2月19日

## 薬物乱用防止教室



2月14日（金）に、5・6年生を対象に薬物乱用防止教室を開催しました。今年度は、弥富ライオンズクラブの方に講師をしていただきました。

薬物を使用すると年齢が低いほど依存の危険性が高いこと、記憶力や集中力に悪い影響が出ることや、万が一、身近な人から薬物を進められたときの断り方などを分かりやすく教えていただきました。また、風邪薬や頭痛薬などの薬も、使用上の注意を守らないといけないことやたばこについては周りの人が受ける害についても教えていただきました。最後に市長さんから、薬物依存の危険性についてお話をいただきました。

## 参加した皆さんの感想を紹介します

ぼくは、今日、薬物乱用防止教室に参加して、「薬物はダメ！ゼツタイ!」という言葉が心に残りました。大麻やMDMAなどの薬物には、体によくない物質がたくさん入っています。これを飲み続けると、薬物をやめることができない体質になってしまいます。自分には、できないことはないのかと考えてみました。ぼくにできることは、「薬物をゼツタイに使わない」ということだと思います。一度使ってしまったら、体をなおすことはできません。なので、友達にも「薬物はダメ!」ということをお話してあげたいと思います。  
(5年)

保健の授業で、大麻やシンナーなどのことを学んだり、テレビのニュースで見たことがあったりしたので、少しは知っていましたが、今回、「薬物乱用防止教室」でより深く知ることができました。特にびっくりしたことは、大麻が見て分からないように、お菓子（ラムネ）やたばこ風になって売られていることです。もしも、将来、海外に行くことがあったら、大麻がお菓子などに入っていないか、しっかり確認して、大麻を食べてしまわないように気をつけたいです。また、身近な人に「大麻、どう?」などとさそわれても、アイメッセージを使ってしっかり断ることができるようになりたいです。(6年)

最近、テレビでよく薬物のニュースを見るので、子どもと話す機会も増えました。でも、何となくでしか話せませんでした。今日の「薬物乱用防止教室」に参加させていただいて、薬物依存の危険性や子どもたちの身近にある物だということがよく分かりました。今はきっとテレビの中の出来事ではなけれど、これから大人になっていく中で、もしかしたら出会ってしまうかもしれない薬物について、家庭でももっと話し合っていこうと思いました。  
(保護者)

興味の出始める年頃で、いろいろな甘い誘惑が多くなる中で、他の国では合法だからといって危険か安全かを区別できない子にはなってほしくない。大人は、危険性を日々伝えることや悩んだときに相談してもらえぬ関係をつくっておくことを大切にしたい。このようなお話の機会が年に1回でも2回でもあると、子どもたちの助けになると思います。(保護者)